



南の目指す生涯学習社会

～みんなが元気に みんなが幸せに～

新年度の事業について

例年になく混乱の中での年度末となりました。今年度も、南教育事務所社会教育班所管事業等への御参加・御協力に、紙面をお借りして感謝申し上げます。

さて、新年度も右のように学校・家庭・地域連携総合推進事業を中心として、たくさんの研修会や大会が予定されています。詳しい内容や参加募集等につきましては改めて御案内いたしますが、新年度もたくさんの御参加をお待ちしています。

《令和2年度の主な事業予定》

○学校・家庭・地域連携協議会①	6月2日(火)
○放課後支援者研修会①	6月11日(木)
○コーディネーター・地域連携担当教職員等研修会①	6月30日(火)
○コーディネーター・地域連携担当教職員等研修会②	7月30日(木)
○高校生・パパママ読み聞かせ教室	8月3日(月), 5日(水)
○ピブリオバトル大仙大会	10月24日(土)
○ピブリオバトル横手大会	10月25日(日)
○ピブリオバトル湯沢大会	11月1日(日)
○放課後支援者研修会②	11月10日(火)
○学校・家庭・地域連携協議会②	1月29日(金)

情報提供の御案内

南教育事務所社会教育班では、学校や市町村等による取組を集約して情報提供を行うことによって、地域の教育力を活用した小・中学校の活動や市町村が行う各事業等を支援し、生涯学習・社会教育の推進を図っています。

この度、県南地区の小・中学校や県立特別支援学校、市町村教育委員会の御協力を得て、次の二つの情報提供を行います。

◇「学校と地域の連携・協働」活動事例一覧

新学習指導要領の理念を実現させる「地域学校協働活動」の推進と、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりの更なる充実に反映させるための情報提供です。

◇「家庭教育講座」一覧

市町村における家庭教育支援事業の、更なる充実に寄与することを目的とした情報提供です。

※どちらも、秋田県公式サイト「美の国あきた ネット」南教育事務所社会教育のページに掲載しておりますので、御活用ください。

アドバイザーコラム：学校・家庭・地域の協働 6

コミュニティ・スクールで進める協働②

社会教育アドバイザー 小笠原 重夫

コミュニティ・スクール(以下、CS)を進める現場を見て最近思うのは、「CSの進め方は、ワールドカップラグビー大会の日本チームの戦い方にどことなく似ている」ということです。

昨秋、日本中を歓喜の渦に巻き込んだ日本チーム。「ワンチーム」のスローガンのもと、劇的な勝利を重ねたことは、記憶に新しいです。

彼らは、個人の活躍には特に触れず、「選手やスタッフだけでなく、応援してくれる人々も含めたワンチームの勝利」というコメントを残しました。

よく学校の先生方や地域の方々から、「CSになるメリットは何？」との声を聞くことがあります。

私は、CS導入の効果は、桜のエムブレムを付けた横縞のジャージーを、選手はもちろん観客席で応援していた人々も着ていたように、その学校の「子どもたち」も「先生方」も「地域住民」等も、皆同じユニフォームを着ることができる「ユニフォーム効果」にあるのではないかと考えています。

同じユニフォームを着て(つまり同じ目的意識をもって)、地域住民は学校を支援し、学校は地域の活性化に寄与するという「協働」のパス交換をしながら、CSを少しずつ前進させていく。このことは、何度も相手とぶつかり合いながら、多くの人数をかけてパスを回してじりじりと前に進めるラグビーの試合そのものと思えるのです。